

合唱団
Rinte 第11回定期演奏会

夢
逢
い
ま
し
よ
う

オール
アカペラ
プログラム

指揮 栢森和重

A.Bruckner Os justi 他
柴田南雄 万葉集の三つの歌(三重五章より)
James MacMillan Miserere
Edward Elger Lux Aeterna
中村八大 arr.猪間道明
無伴奏混声合唱のための「夢で逢いましょう」

2018.7.16(祝) 13:30開場 14:00開演
なら100年会館 中ホール

入場料 前売1300円(当日1500円) / 高校生以下500円

お願い ● 未就学児の入場はご遠慮ください。 ● 出演者への花束・贈り物等は謹んでご辞退申し上げます。

主催 合唱団 Rinte
後援 奈良市教育委員会 木津川市教育委員会(申請中) 精華町教育委員会 株式会社 KCN 京都
連絡先 桜井 090-7486-4273 HP: <http://rinte-myheart.com>
チケット取扱所 なら100年会館 (0742-34-0111) 薬膳レストランあわさい (0774-73-1175)

Rinte 合唱団 第11回定期演奏会

A.Bruckner(1824-1896)

Os justi

〔正しき者の口は知恵を語り〕 他

ブルックナーはオーストリアのリッツ近郊の小さな村に生まれた後期ロマン派を代表する作曲家、オルガニスト。彼の交響曲やミサ曲、テ・デウムなどのオーケストラを伴う宗教音楽は世界中で演奏されている。少年期から教会のオルガニストだったため、教会作品も多く残しており、その中からアカペラ(無伴奏)のモテットを3曲選んだ。Locus iste[この場所は神によって作られた](1869)は慎ましやかさの中にもハーモニーの豊かさに心打たれる作品。Christus factus est [キリストは従順であられた](1884)はとかく忍従の多かった彼の人生の中でも、彼の作品が認められ、経済的にも豊かになる円熟期の作品。ブルックナーらしい近代和声を駆使している。Os justi〔正しき者の口は知恵を語り〕(1879)は作曲家自身がF(ファ)を基音としたリディア旋法(教会旋法)と書きしるして、#やbなどの調性感を現わす記号は一つも使われていない。どれも生涯信仰を貫いたブルックナーの神への愛が満ちあふれている。

柴田南雄(1916-1996)

万葉集の三つの歌(1994)

〔三重五章より〕

20世紀後半の日本を代表する作曲家で「知の巨人」といわれる柴田南雄はテープ音楽や十二音技法などの現代的な音楽の研究や音楽評論、著作、後進の育成など多面的に活躍した。壮年期より合唱に於けるシアターピース作品を開拓し、多くの作品を残した。シアターピースとは演奏者の行為(演技)による音楽作品。ステージのみならず、通路・客席を含む劇場空間全体を活用する作品が多い。この「万葉集の三つの歌」は国民文化祭三重'94の委嘱作品である「三重五章」の間奏曲風の曲。テキストには奈良時代、大仏を建立したことで知られる聖武天皇が西方で藤原広嗣の乱が起り、突如伊勢国や美濃国に行幸した際の聖武天皇自身と同行した大伴家持の和歌が使われている。この「三重五章」もシアターピース作品で、若干の動きを伴って演奏される。



合唱団Rinte

1996年2月結成。アカペラでの演奏を活動の中心に据えている。月2回の練習に近隣を中心に大阪、京都、三重などからも、木津に集まってくる。結成以来、栢森和重が常任指揮者を務める。

私たち合唱団Rinteは、合唱の本当のおもしろさを求めて「これが合唱!」「これこそ合唱!」と言われるような魅力的で美しい作品を歌っています。私たちが、練習の中で楽しみながら見つけたしたり、感じあったり、大切にしてきた声が続りなす世界を「合唱」という表現スタイルをとおして、私たちの歌を聴いてくださるみなさんと共感しながら、より多くのみなさんにひろげていきたいと活動しています。

James MacMillan(1959-)

Miserere(2009)

ジェイムズ・マクミランは1959年英国のスコットランドに生まれた現代作曲家。「現代音楽は調性がなく、リズムが難解」という時代は過ぎ、ポストモダンと呼ばれる現在、過去のあらゆる音楽が作曲家の素材となりうる。バッハからベートーヴェン、ショパンなどのクラシック音楽、シェーンベルク、ドビュッシー、プーレーズなどの現代音楽、ロックやジャズなどのポピュラー・ミュージック、さまざまな民俗の音楽など、あらゆる音楽によるいかなる組み合わせも可能となっている。マクミランは管弦楽の作品でもよく知られているが、声楽や合唱作品も多く書いていて、現代イギリスを代表する注目の作曲家である。ミゼレーレは旧約聖書詩篇第51篇をもとに作曲したもので、あの有名なアレグリのミゼレーレと同じテキストとなる。中世を思わせるハーモニーと旋法やグレゴリオ聖歌をベースとして曲は進み、まさに神への懺悔を求め続ける。そして、まさに闇から光が…。2009年アントワープでハリー・クリストファーズ指揮ザ・シックスティーンズによって初演された。

Edward Elger(1857-1934) arr.J.Cameron Lux Aeterna

エルガーはイギリスが誇る作曲家。このLux Aeterna(永遠の光)はエルガーの管弦楽曲「エニグマ変奏曲」における第9変奏「ニムロッド Nimrod」を混声8部合唱に編曲したものである。この曲はエルガーの曲の中でもイギリスの人々に最も愛されているものの1つといえ、アンコールピースとしてもよく演奏される。

中村八大(1931-1992) arr.猪間道明(1964-)

無伴奏混声合唱のための

「夢で逢いましょう」

今から50年余り前の高度経済成長期、中村八大が書いたそれまでにはないおしゃれな曲がヒットした。「夢で逢いましょう」「明日があるさ」「遠くへ行きたい」、そして「上を向いて歩こう」。猪間道明のポップなアレンジによって原曲のイメージがそのまま受け継がれ、かつ、アカペラの美しい響きが満喫できる編曲となっている。

団員募集

オーディションはありません。
歌うのが好きな方、ちょっと本格的に
合唱してみたい方!
私たちと一緒に合唱を楽しみませんか?

<<主な活動>>

定期演奏会、合唱祭 等への出演、依頼演奏など

練習日 第1日曜日 10~17時

第3・5日曜日 13~17時

練習会場 木津川市東部交流会館 他

問い合わせ 090-7486-4273 (桜井)

<http://www.rinte-myheart.com/>